



千代の代表作「おはん」装幀 木村莊八

明治・大正・昭和・平成と女性の自由な生き方の先駆者として1996年98歳の天寿をまっとうした作家宇野千代の生涯は自伝的作品「生きて行く私」などにも著されています。

仕事に誠実で自分と生活を美しくするべく努め、生きることを心底から楽しむ人生哲学が「生きることの達人」の手本として、今なお多くの読者に感動と勇気を与えています。

本展はひたむきに生きた宇野千代の尽きせぬ魅力を本人の文章と言葉から引き、文学と切り離すことの出来ないその生涯、さらに美しく生きたスタイルを解き明かします。



若き日の千代

# I 「生涯と文学」

- ① ふるさと岩国
- ② 文壇デビュー「脂粉の顔」
- ③ 文学の転換点「色ざんげ」
- ④ 宇野千代文学の成熟「おはん」
- ⑤ 随想、エッセー

# II 「出会いと交友」

- ① 文学と人生の出会い パートナーたちと友人たち(尾崎士郎、東郷青児、北原武夫)
- ② 小林秀雄、青山二郎、瀬戸内寂聴、宮尾登美子、河上徹太郎)

# III 「美と暮らし」

- ① 千代デザインの着物
- ② 日々の暮らし

# IV 「メッセージと千代の言葉」

# V 「千代の映像上映」



新緑の生家

(撮影：角田 誠)

## 宇野千代 うのちよ

明治30年山口県岩国市生まれ。大正3年岩国高等女学校卒業。大正10年処女作「脂粉の顔」で懸賞短編小説一等入選。作家活動に入る。昭和10年初期代表作「色ざんげ」を発表。昭和11年スタイル社設立。女性誌「スタイル」創刊。昭和32年代表作「おはん」で野間文芸賞。昭和33年女流文学者賞受賞。昭和46年「幸福」などで女流文学者賞。昭和47年芸術院賞受賞、昭和48年芸術院会員。昭和58年「生きて行く私」を発表、ベストセラーとなる。平成2年岩国市名誉市民となる。文化功労者として顕彰される。平成8年没。勲二等受勲。享年九十八歳。

## ◎交通のご案内



## NPO 宇野千代生家

〒741-0082 山口県岩国市川西2-9-35  
0827-43-1693